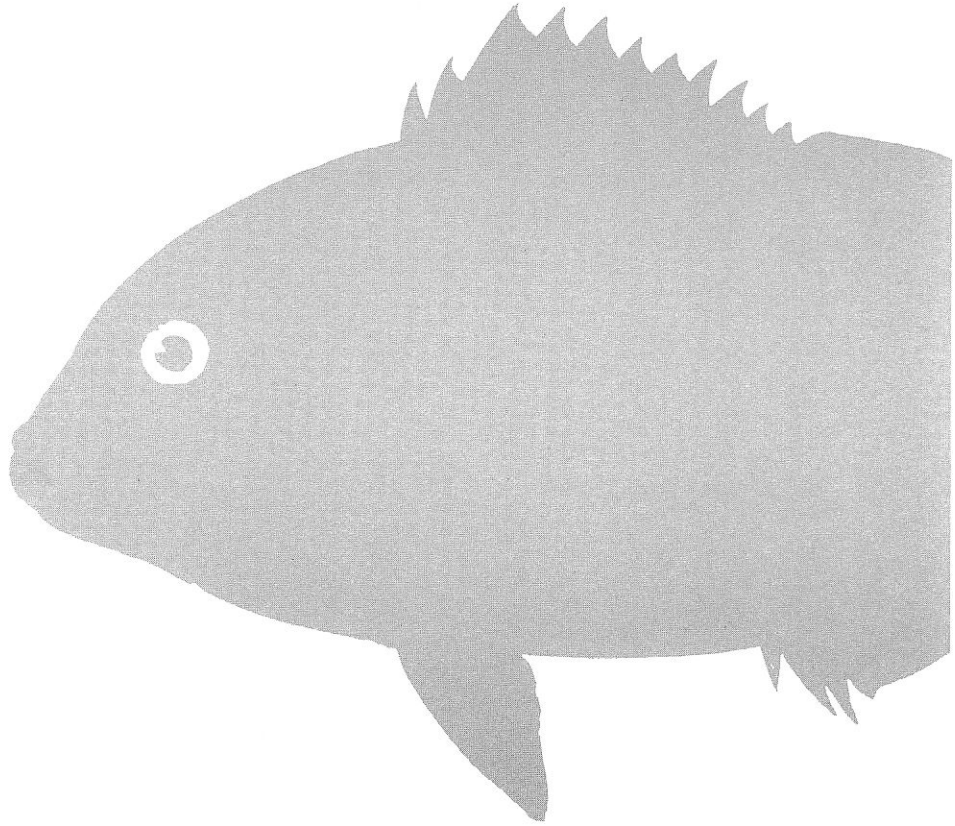
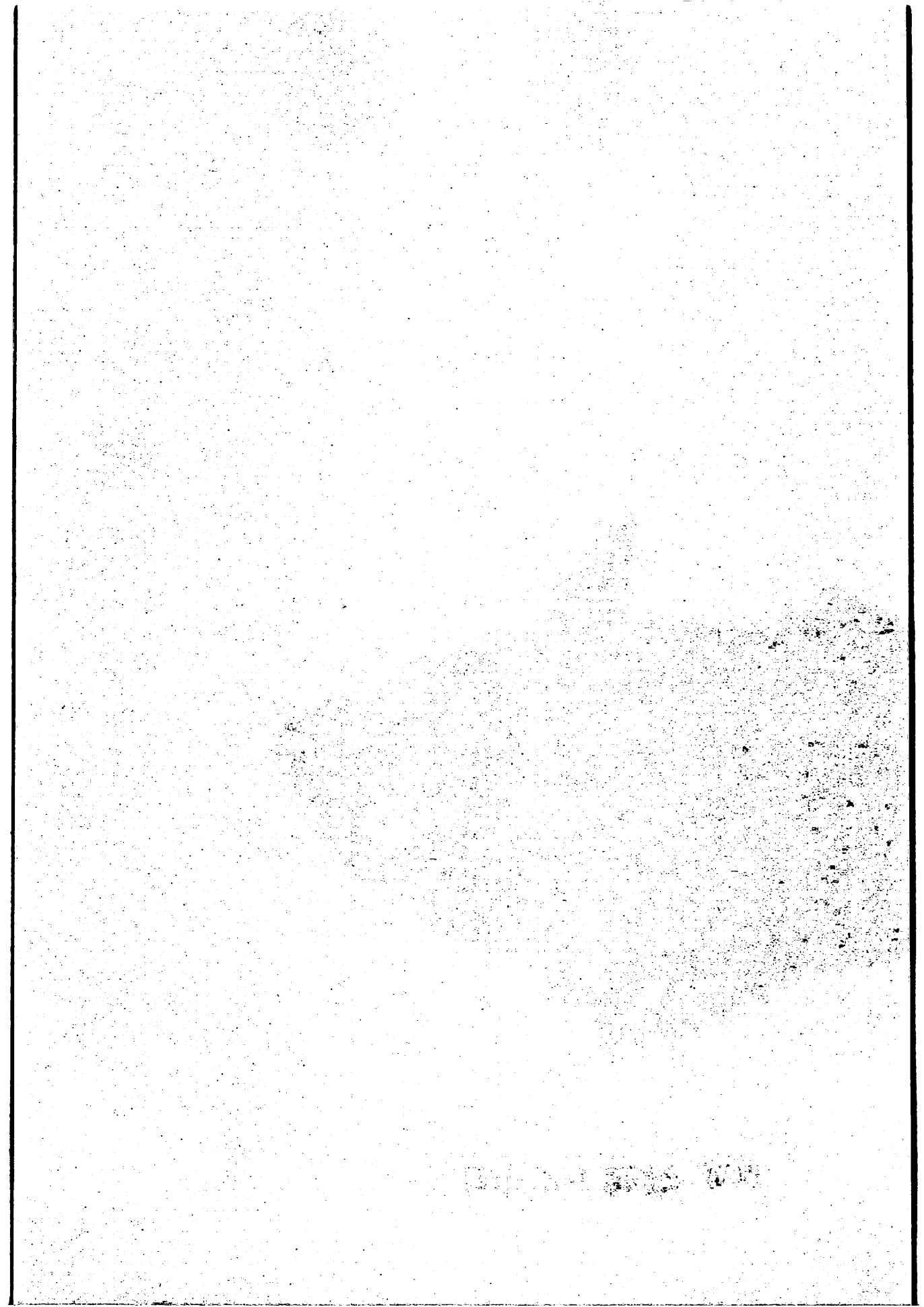


セキツイ動物〈魚類〉





PISCES

魚類

Eptatretidaeヌタウナギ科

ヌタウナギ

Eptatretus burgeri (Girard)

浅海性で、夏から秋の産卵期にやや深所に移動する以外は、湾内の水深数mの場所でもみられる。本州中部以南に分布。

不明

不明

F10-118

Heterodontidaeネコザメ科

ネコザメ

Heterodontus japonicus (Dumeril)

本州中部沿岸、朝鮮半島、東シナ海に生息。おとなしいサメだが、歯はサザエをかみくだくほど強い。

不明

不明

F10-119

Scyliorhinidaeトラザメ科

ナガサキトラザメ

Halaelurus buergeri (Muller et Henle)

日本各地で普通にみられる。沿岸の砂泥底にすむ。

不明

不明

F10-120

Triakidaeドチザメ科

ホシザメ

Mustelus manazo Bleeker

北海道以南の日本各地に分布。

不明

不明

F10-121

Carcharhinidaeメジロザメ科

ヨシキリザメ

Prionace glauca (Linnæus)

熱帯、亜熱帯域に分布。一般に外洋性だが、まれに沿岸に侵入する。

沖縄県魚釣島

1953-03-06

不明

F10-123

Orectolobidae**テンジクザメ科**

- オオセ *Orectolobus japonicus Regan*
 本州中部以南からフィリピンにかけて生息し、かねては海底にじっとしている。
- 不明 不明 F10-124

Urolophidae**ヒラタエイ科**

- ヒラタエイ *Urolophus aurantiacus Muller et Henle*
 琉球を除く本州中部以南の南日本に生息。カマボコなどの原料となる。
- 不明 不明 F10-125

Anguillidae**ウナギ科**

- ウナギ *Anguilla japonica Temminck et Schlegel*
 県内各地の河川、湖沼でみられたが、最近は減少した。夜行性で、夜に活発に餌をとる。5～10年で海へ下り、フィリピンのルソン島東方海域で幼生が採集されたことから、その付近の深海（水深1000m位）で産卵するらしいことが判ってきた。

大口市山野羽月川 1963-08-08 西 源一郎 F10-11

- オオウナギ *Anguilla marmorata Quoy et Gaimard* 2
 南方系のウナギで、体長2mにもなる。県内各地の河川にみられるが、池田湖のオオウナギは有名である。

指宿市池田湖 1959-06 小山 俊男 F10-12
 指宿市池田湖 1959-06 小山 俊男 F10-38

Muraenidae**ウツボ科**

- アミウツボ *Gymnothorax reticularis Bloch*
 ウツボとしては深い所にすみ、底曳網で漁獲される。ただし、食用にはしない。
- 不明 不明 F10-131

- クラカケウツボ *Gymnothorax rueppelliae (McClelland)* 2
 サング礁に普通に見られるが、食用にはしない。琉球列島に分布。

宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-15-1
 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-15-2

コウフンウツボ
 宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-17

- ゼブラウツボ *Gymnomuraena zebra (Shaw)*
 サング礁の潮干帯付近でよく見られる。甲殻類やウニを餌とする。

沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-18

トラウツボ *Muraena pardalis Temminck et Schlegel* 2
南日本以南の岩礁地帯に生息し、個体数は少ないが、色彩が派手で目につく。

佐多町佐多岬 1964-09-07 西 源一郎 F10-14-2
種子島 1961-06-17 石田 英実 F10-14-1

ハナビラウツボ *Gymnothorax meleagris (Shaw et Nodder)*
奄美諸島以南に生息する。体長は1 mにもなる。

種子島 1961-06-17 石田 英実 F10-16

Ophichthidae

ウミヘビ科

モヨウモンガラドオシ *Myrichthys maculosus (Guvier)*
体長1 mもあり、三宅島以南、太平洋中・西部に生息する。

種子島 1961-06-17 石田 英実 F10-13

Osmeridae

キュウリウオ科

ワカサギ *Hypomesus nipponensis McAllister*
自然の分布域は関東以北で、海の内湾、湖沼、人工湖、及びこれらに注ぐ川の下流域に生息する。現在は各地へ移殖されている。

不明 不明 F10-126

Plecoglossidae

アユ科

アユ *Plecoglossus altivelis Temminck et Schlegel* 3
北海道西部以南の日本各地に分布する。奄美大島、沖縄本島（絶滅？）に生息するものは別亜種（リュウキュウアユ）である。県内各地の河川でみられるが、稚魚を放流している河川も少なくない。

鶴田町（鶴田ダム） 1983-06-05 高木 繁 F183-6
指宿市池田湖 1963-10-03 西 源一郎 F10-1
有明町重田菱田川 1991-8-25 君付 学 F199100001

Cyprinidae

コイ科

アブラボテ *Acheilognathus limbatus (Temminck et Schlegel)* 2
マツカサガイなどのイシガイ科の淡水貝に産卵することで知られている。北薩（鹿児島県北西部）の高松川、米ノ津川及びその支流が南限である。この生息域には、近年移入種のタイリクバラタナゴが広がりつつあり、その推移は絶えず確認しておく必要がある。

出水市米之津川 1963-10-03 西 源一郎 F10-4

高尾野町浦窪江内川 1990-2-15 君付 学 FI99100002

ウグイ

Tribolodon hakonensis (Günther)

5

ほぼ全国的に分布するが、琉球列島には生息しない。県下では2～3月が産卵期で腹側に出る婚姻色は美しい。(方名 イダ)

大口市山野春村羽月川	1963-08-08	西 源一郎	FI0-5
鶴田町(鶴田ダム上流)	1983-06-05	高木 繁	FI83-5
内之浦町岸良久保田川	1991-08-14	君付 学	FI99100004
内之浦町岸良久保田川	1991-08-14	君付 学	FI99100005
内之浦町岸良久保田川	1991-08-14	君付 学	FI99100006

オイカワ

Zacco platypus (Temminck et Schlegel)

8

西南日本の河川の中・下流域、湖沼に分布し、5～8月頃流れのゆるやかな平瀬の砂礫底に産卵する。体側の鮮やかな青緑色と赤色の婚姻色は美しい。(方名 ハエ)

大口市山野羽月川	1963-08-08	西 源一郎	FI0-6-1
出水市米之津川	1963-10-03	西 源一郎	FI0-6-2
出水市向江町平良川	1991-09-05	君付 学	FI99100012
出水市向江町平良川	1991-09-05	君付 学	FI99100013
出水市向江町平良川	1991-09-05	君付 学	FI99100014
高尾野町このし橋江内川	1991-05-25	君付 学	FI99100007
鶴田町(鶴田ダム上流)	1983-06-05	高木 繁	FI83-4
有明町重田菱田川	1991-05-28	君付 学	FI99100019

カマツカ

Pseudogobio esocinus (Temminck et Schlegel)

5

本州(岩手, 山形県以南), 四国, 九州に分布する。河川の中流域の砂または砂礫底にもぐり込み、目だけを出している。肉量が多く、肉質もよいので食用にされる。

大口市山野羽月川	1963-08-08	西 源一郎	FI0-129
大口市山野羽月川	1963-08-08	西 源一郎	FI0-3
出水市向江町平良川	1991-09-05	君付 学	FI99100011
阿久根市大曲橋高松川	1991-10-08	君付 学	FI99100003
有明町重田菱田川	1991-05-28	君付 学	FI99100018

カワムツ

Zacco temminckii (Temminck et Schlegel)

7

本州(静岡県以西), 四国, 九州の河川と湖沼に分布し、河川の上・中流域に普通にみられる。産卵期は5～8月である。(方名 ムツゴロ)

出水市向江町平良川	1991-09-05	君付 学	FI99100015
出水市向江町平良川	1991-09-05	君付 学	FI99100016
高尾野町このし橋江内川	1991-05-25	君付 学	FI99100008
高尾野町このし橋江内川	1991-05-25	君付 学	FI99100009
高尾野町このし橋江内川	1991-05-25	君付 学	FI99100010
有明町重田菱田川	1991-05-28	君付 学	FI99100020
有明町重田菱田川	1991-05-28	君付 学	FI99100021

ギンブナ

Carassius auratus (Linnaeus)

2

全国各地, 琉球列島にまで分布し普通にみられる。雌のほうが多く、雌性発生をすること、3倍体であることでも知られている。

出水市米之津川	1963-10-03	西 源一郎	FI0-7-2
出水市米之津川	1963-10-03	西 源一郎	FI0-7-1

タカハヤ *Moroco jouyi (Jordan et Snyder)*
本州（静岡県，富山県以西），四国，九州に分布し，河川の上・中流域，山あいの湖沼に生息する。ヤマメの下流側，カワムツの上流側にすむ。

根占町南川内雄川 1991-10-15 君付 学 FI99100022

モツゴ *Pseudorasbora parva (Temminck et Schlegel)*
本州（関東以西），四国，九州が自然分布とされていたが，現在は他の魚種と一緒に放流された結果，全国に分布している。

有明町重田菱田川 1991-05-28 君付 学 FI99100017

Cobitididae

ドジョウ科

タイリクシマドジョウ *Cobitis taenia taenia Linnaeus*
清流の砂礫底部に生息し，砂中の小動物を食べる。県内河川で見られるドジョウの仲間では本種が多い。

大口市山野羽月川 1963-08-08 西 源一郎 FI0-8

Bagridae

ギギ科

ギバチ *Pseudobagrus aurantiacus (Temminck et Schlegel)*
河川の中流域及び湖沼に生息する。

大口市山野羽月川 1963-08-08 西 源一郎 FI0-10

Siluridae

ナマス科

ナマス *Silurus asotus Linnaeus*
河川の中・下流域および湖沼の砂泥底部に生息する。県内で普通にみられる。

不明 不明 FI0-130

Plotosidae

ゴンズイ科

ゴンズイ *Plotosus lineatus (Thunberg)*
本州中部以南に分布し，沿岸の岩礁域に群れをなして生息する。背びれと胸びれに一本ずつ鋭い棘があり，その付根には毒線があり，神経毒と溶血毒が含まれている。

開聞町花瀬 1964-05-12 西 源一郎 FI0-9

Synodontidae

エソ科

アカエソ *Synodus ulae Schultz*
岩礁やその周辺の砂地に生息する。南日本に分布。

不明 不明 F10-127

Paralepididae

ハダカエソ科

ナメハダカ *Lestidium prolixum* Harry
駿河湾，熊野灘，土佐沖，鹿児島沖に分布している。

不明 不明 F10-128

Belonidae

ダツ科

ダツ *Strongylara anastomella* (Valenciennes)
日本沿岸の普通種で，初夏の頃沿岸の藻場で産卵する。琉球列島にいるのはリュウキュウダツである。夜，光に集まる習性があり，電灯潜りによる死亡事故の例もある。

不明 不明 F10-132

ハマダツ *Ablennes hians* (Valenciennes)
南日本に分布し，普通に見られるが，食用にはならない。

不明 不明 F10-133

Exocoetidae

トビウオ科

トビウオ *Cypselurus agoo agoo* (Temminck et Schlegel)
南日本に分布。初夏に産卵群を刺網で漁獲する。種子島，屋久島のトビウオ漁は有名である。

不明 不明 F10-134

Syngnathidae

ヨウジウオ科

イシヨウジ *Corythoichthys haematopterus* (Bleeker)
サンゴ礁域の浅所で普通にみられる。和歌山県以南に分布。

沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-20

イバラタツ *Hippocampus histrix* Kaup
日本沿岸ではまれだが，観賞魚として輸入されている。和歌山県以南に分布。

不明 不明 F10-135

Carapidae

カクレウオ科

カクレウオ *Encheliophis sagamianus* (Tanaka)
相模灘以南に分布。ナマコ類の消化管や体腔に入ること知られるが，まれにヒトデや貝殻からも見つけ出される。

沖縄県宮古島

1963-07

西 源一郎

F10-52

Ophidiidae

アシロ科

ヨロイイタチウオ *Hoplobrotula armata (Temminck et Schlegel)*
南日本から東シナ海の200～350mの海底に生息する。

不明

不明

F10-154

Antennariidae

イザリウオ科

ハナオコゼ *Histrio histrio (Linnaeus)*
流れ藻について移動し、海藻そっくりの擬態で小魚を待つ。暖海にすむ。

不明

不明

F10-153

Holocentridae

イトウダイ科

アカマツカサ *Myripristis berndti Jordan et Evermann*
奄美大島以南に分布。浅いサンゴ礁で普通に見られる。

沖永良部島

1962-07-20

石田 英実

F10-21

アヤメエビス *Sargocentron rubrum (Forsskal)*
浅い岩礁やサンゴ礁にすむ。和歌山県以南に分布。ややまれな種。

沖縄県宮古島

1963-07

西 源一郎

F10-23

イトウダイ *Sargocentron spinosissimum (Temminck et Schlegel)*
やや深い岩礁にすみ、本州中部以南に分布。カノコウオ、ヨロイダイともいう。

沖永良部島

1962-07-20

石田 英実

F10-22

テリエビス *Sargocentron ittodai (Jordan et Fowler)*
日本近海の固有種と思われ、紀伊半島以南～沖縄に分布している。

沖縄県宮古島

1963-07

西 源一郎

F10-24

Trachipteridae

フリソデウオ科

サケガシラ *Trachipterus ishikawai Jordan et Snyder*
体は銀白色で、尾びれが小さい。大きなものは体長2.7mにも達する。本標本は1.85mあり、水深180mのところから底曳網で漁獲されたものである。北海道から本県までの日本近海に分布している。

鹿屋市高須沖5km水深180m

1987-11-18

柿内 重直

F199100052

Regalecidae**リュウグウノツカイ科**

リュウグウノツカイ

Regalecus russellii Shaw

中深層遊泳性の体長5.5 mにも達する大きな魚である。東北以南の各地の海岸に打ち上げられ、発見者を驚かせてニュースになる。インド洋まで広い範囲に分布していると思われる。本標本は体長3.8 mもあり、鹿児島湾東側海岸に打ち上げられたものである。

垂水市中俣下園海岸

1981-01-21

下園 覚

♂ F199100051

Zeidae**マトウダイ科**

マトウダイ

Zeus faber Linnaeus

砂泥底にすみ、甲殻類や小魚を捕食する。本州以南に分布し、食用にされる。

不明

不明

F10-137

Atherinidae**トウゴロウイワシ科**

ヤクシマイワシ

Atherinomorus lacunosus (Schneider)

2

南日本に分布し、琉球列島周辺では普通に見られる。

不明

不明

F10-138-1

不明

不明

F10-138-2

Belontiidae**トウギョ科**

タイワンキンギョ

Macropodus opercularis (Linnaeus)

沖縄島に分布するが、中国南部あるいは東南アジアから移殖されたと考えられている。空気呼吸ができる。

シンガポール

不明

F10-143

Ambassidae**タカサゴイシモチ科**

タカサゴ

Caesio diagramma Bleeker

サンゴ礁域に群遊する重要な食用魚でおいしい。海中では青く見えるが、水面上に出ると赤い。沖縄県では県魚に指定している。南日本に分布。アカウルメ、アカムロ、ハーウルメ（奄美）とも呼ばれる。

奄美大島

不明

F10-148

Percichthyidae

スズキ科

アズマハナダイ *Zalanthias azumanus* (Jordan et Richardson)
 やや深海の岩礁域や砂礫底にすむ。南日本に分布。

不明 不明 F10-146

Serranidae

ハタ科

イシガキハタ *Epinephelus hexagonatus* (Schneider) 2
 琉球列島に分布。

宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-35-2
 沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-35-1

カンモンハタ *Epinephelus merra* (Bloch)
 サンゴ礁域の礁湖で最も普通に見られ、美味である。南日本に分布。

宝島 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-34

ニセヒトミハタ
 沖縄永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-37

ヒトミハタ *Epinephelus tauvina* (Forsskal)
 南日本に分布。釣りで漁獲され、美味である。

宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-36

モヨウハタ *Epinephelus megachir* (Richardson) 2
 かつて南日本から報告されたが、その後採集例はない。

沖縄永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-33-1
 沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-33-2

Grammistidae

ヌノサラシ科

ヌノサラシ (ヌノサラシ) *Grammistes sexlineatus* (Thunberg)
 浅海のサンゴ礁に単独で生息する。相模湾以南の南日本に分布。

宝島 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-38-01

Plesiopidae

タナバタウオ科

タナバタウオ *Plesiops coeruleolineatus* Ruppell 2
 タイドプールや礁湖で石やサンゴの下にすむ。主として甲殻類を食べる。南日本に分布。

開聞町花瀬 1964-05-12 西 源一郎 F10-39-2
 種子島 1961-06-17 石田 英実 F10-39-1

タナバタウオ科の一種
 沖永良部島 *Plesiops sp.*
 1962-07-20 石田 英実 F10-41

Kuhliidae ユゴイ科

ギンユゴイ *Kuhlia mugil Bloch et Schneider* 2
 南日本の沿岸の汽水域に分布。ミコ（種子島），ヒバナ（トカラ），ミキョウ（奄美）とも呼ばれる。

宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-32-2
 宝島 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-32-1

ユゴイ *Kuhlia marginata (Cuvier)*
 大根占町神川丸屋神川 1991-10-14 君付 学 F199100023

Priacanthidae キントキダイ科

ホウセキキントキ *Priacanthus hamrur (Forsskal)*
 サンゴ礁域に多く，釣りや刺網で漁獲されるが，美味でない。南日本に分布し，鹿児島ではセマツダイなどと呼ばれる。

不明 不明 F10-145

Apogonidae テンジクダイ科

タスジイシモチ *Apogon novemfasciatus Cuvier*
 琉球列島に分布。

沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-30

ヤライイシモチ *Cheilodipterus quinquelineatus Cuvier*
 琉球列島では最も普通種で，サンゴ礁や岩礁にすむ。

沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-31

Carangidae アジ科

ロウニンアジ *Caranx ignobilis (Forsskal)*
 体長1mにもなる大型魚で，食用魚となり釣り人の評判は高い。沖縄では外海に面した荒磯でも釣れることがある。南日本や太平洋，インド洋の熱帯域にすむ。

不明 不明 F10-142

Mullidae

ヒメジ科

インドヒメジ	<i>Parupeneus barberinoides</i> (Bleeker)			
サンゴ礁域にすむが個体数は少ない。伊豆半島以南の南日本に分布。				
沖縄県宮古島	1963-07	西 源一郎	F10-26	
オジサン	<i>Parupeneus trifasciatus</i> (Lacepede)			3
サンゴ礁域で最も普通。追込網などで漁獲され、食用とされる。				
沖永良部島	1962-07-20	石田 英実	F10-28-1	
不明		不明	F10-144	
沖縄県宮古島	1963-07	西 源一郎	F10-28-2	
コバンヒメジ	<i>Parupeneus indicus</i> (Shaw)			
サンゴ礁域に普通。釣りや刺網などで漁獲され美味である。南日本に分布。				
沖縄県宮古島	1963-07	西 源一郎	F10-27	
ホウライヒメジ	<i>Parupeneus rubescens</i> (Lacepede)			2
南日本に分布。				
宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-29-2	
沖縄県宮古島	1963-07	西 源一郎	F10-29-1	

Pempheridae

ハタンボ科

ミナミハタンボ	<i>Pempheris xanthoptera</i> Tominaga			2
南日本（千葉県以南）沿岸の普通種で、磯釣りでも釣れる。夜行性で体長15cmぐらいだが、味はよい。千葉県以南に分布。				
宝島 十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-25-2	
沖永良部島	1962-07-20	石田 英実	F10-25-1	

Girellidae

メジナ科

オキナメジナ	<i>Girella mezina</i> Jordan et Starks			
千葉県以南に分布。クロイオ、シッオ、スパツなどと呼ばれる。				
宝島 十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-43	
クロメジナ	<i>Girella melanichthys</i> (Richardson)			
メジナより南方系でやや外洋性。この属では全長70cmと最も大きくなる。冬に美味。相模湾以南に分布。				
宝島 十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-42	

Kyphosidae**イスズミ科**

テンジクイサキ

Kyphosus cinerascens (Forsskal)

相模湾以南に分布し、夏から秋にかけては主に動物食だが、冬は褐藻類を好んで食べる。冬は美味で、冬の磯釣りの対象魚として人気がある。

宝島 十島村

1964-07-15

四宮 明彦

FI0-44

Lutjanidae**フエダイ科**

イッテンフエダイ

Lutjanus monostigma (Cuvier)

琉球列島以南に分布し。老成魚では斑点がなくなるが、国内では斑点のある若魚がほとんどである。

宝島 十島村

1964-07-15

西 源一郎

FI0-45

ハナフエダイ

Tropidinius amoenus (Snyder)

食用魚で水深100m以上のところから普通に釣獲される。南日本に分布。奄美地方ではアマダイと呼んでいる。

平島 十島村

1953-03-06

不明

FI0-149

Sparidae**タイ科**

キダイ

Dentex tumifrons (Temminck et Schlegel)

琉球列島を除く南日本に分布。レンコダイともいい、東シナ海の底曳網で多くとれる重要な食用魚である。鹿児島ではコダイ、コアと呼ばれる。

鹿児島市中央卸売市場

1990-10-05

FI99100054

キチヌ

Acanthopagrus latus (Houttuyn)

琉球列島を除く南日本に分布。若年魚は河口域や内湾に多く分布する。四国、九州南部ではクロダイより多い。沿岸岩礁性の肉食魚。

鹿児島市中央卸売市場

1990-10-05

FI99100058

クロダイ

Acanthopagrus schlegeli (Bleeker)

北海道以南に分布するが、琉球列島にはいない。釣魚として人気があり、美味である。チヌ（チン）と呼ばれる。

鹿児島市中央卸売市場

1990-10-05

FI99100055

タイワンダイ

Argyrops bleekeri Oshima

高知から南シナ海にかけて分布。背びれの数棘が糸状に延長するのが特徴である。

奄美大島 宇検村名柄

1991-01-14

吉田 次

FI99100053

チダイ

Evyris japonica Tanaka

琉球列島を除く、北海道南部以南に分布。マダイに色、形ともよく似るが、背びれの第3～4棘がやや長く糸状になる点で異なる。大きさも45cm以下で、マダイ

ほど大きくなる。

鹿児島市中央卸売市場 1990-10-05 FI99100057

ヘダイ *Sparus sarba (Forsskal)*
南日本に分布。一本釣り、定置網、底曳網などで漁獲され美味である。

鹿児島市中央卸売市場 1990-10-05 FI99100056

マダイ (2~3年もの) (天然) *Pagrus major (Temminck et Schlegel)* 2
北海道以南に分布しているが、琉球列島にはいない。冠婚祭には欠かせない魚である。栽培漁業センターで鹿児島湾にふ化放流されているが、他地域よりはるかに放流成果が上がっている。湾内漁獲量の50数%以上が放流マダイである。

鹿児島市中央卸売市場 1991-01 FI99100060 2

マダイ (4年もの) (天然) *Pagrus major (Temminck et Schlegel)*
鹿児島市中央卸売市場 1990-10-05 FI99100059

マダイ (放流) *Pagrus major (Temminck et Schlegel)* 4
鹿児島市中央卸売市場 1990-10-05 FI99100061 4

Scorpididae

カゴカキダイ科

カゴカキダイ *Microcanthus strigatus (Cuvier)* 2
南日本の磯ではごく普通で、岩礁の潮通しのよい場所にすむ。肉食性で、食用にもなり美味である。茨城県以南に分布。

鹿児島湾 (マリンパーク飼育) 1983-07-10 FI83-1-1
鹿児島湾 (マリンパーク飼育) 1983-07-10 FI83-1-2

Chaetodontidae

チョウチョウウオ科

オニハタテダイ *Heniochus monocerus Cuvier*
岩礁のへこみを好み、特に幼魚は穴にかくれる性質が強く、一定の岩穴にすみついていることが多い。伊豆七島以南に分布。

沖縄県宮古島 1963-07 西源一郎 FI0-93

ゴマチョウチョウウオ *Chaetodon citrinellus Cuvier*
浅海をつがいで泳いでいることが多い。千葉県以南に分布。

沖縄県宮古島 1963-07 西源一郎 FI0-90

スタレチョウチョウウオ *Chaetodon ulietensis Cuvier*
幼魚は浅いサンゴ礁付近で生活するが、成長とともに深部、外縁部に移動し、つがいを形成する。相模湾以南に分布。

宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 FI0-88

スミツキトノサマダイ	<i>Chaetodon plebeius</i> Cuvier			
造礁サンゴ, 特にミドリイシ類のポリプを食べる。駿河湾以南に分布。				
宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-84	
セグロチョウチョウウオ	<i>Chaetodon ephippium</i> Cuvier			
サンゴ礁の外縁よりも内湾を好み, やや濁った浅海域に多い。千葉県以南に分布。				
宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-89	
チョウハン	<i>Chaetodon lunula</i> (Lacepede)			2
千葉県以南に分布。全分布域で普通に観察される種で, 内湾域からサンゴ礁の外縁部まで生息域も多様である。夜行性でウミウシなどの小動物を食べる。				
宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-87-2	
十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-87-1	
トゲチョウチョウウオ	<i>Chaetodon auriga</i> Forsskal			
幼魚は夏~秋期に本州中・南部の磯に普通に出現するが, 成魚が観察されるのは奄美大島以南。造礁サンゴのポリプや小型イソギンチャクを主に食べる。				
沖永良部島	1962-07-20	石田 英実	F10-85	
ハタタテダイ	<i>Heniochus acuminatus</i> (Linnaeus)			
本州南岸では, 夏から秋に幼魚が内湾の浅いところでみられる。成魚は奄美大島以南で普通にみられる。				
沖永良部島	1962-07-20	石田 英実	F10-92	
フウライチョウチョウウオ	<i>Chaetodon vagabundus</i> Linnaeus			2
温帯に適応した種類で, 本州南岸でも普通にみられる。千葉県以南に分布。				
宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-86-2	
沖永良部島	1962-07-20	石田 英実	F10-86-1	
フエヤッコダイ	<i>Forcipiger flavissimus</i> Jordan et McGregor			2
岩の間隙などにすみ, さかさまになって岩にくっつくようにして静止している。三浦半島, 伊豆七島以南に分布している。				
宝島 十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-83	
不明	1983-07-20	不明	F183-3	
ミスジチョウチョウウオ	<i>Chaetodon trifasciatus</i> Mungo Park			
造礁サンゴのミドリイシ類のポリプを食べている。相模湾以南に分布している。				
十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-91	

Pomacanthidae

キンチャクダイ科

ソメワケヤッコ *Centropyge bicolor* (Bloch)
派手なツートンカラーの魚で相模湾以南に分布。

不明 1983-07-20 不明 FI83-2

Oplegnathidae

イシダイ科

イシダイ (幼魚) *Oplegnathus fasciatus* (Temminck et Schlegel) 2
日本各地に分布するが西日本に多い。屋久島あたりが南限で、サンゴ礁域には生息しない。

鹿児島湾 (マリンパーク飼育) 1983-07-10 FI83-7-1

鹿児島湾 (マリンパーク飼育) 1983-07-10 FI83-7-2

Pomacentridae

スズメダイ科

アックチスズメダイ *Cheiloprion labiatus* (Day)
サンゴ礁のラグーン内、特にミドリイシ類の多いところで見られ、それらのポリプを食べる。琉球列島に分布。

沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 FI0-63

オキナワスズメダイ *Pomachromis richardsoni* (Snyder)
サンゴ礁域の外側に群がって生息している。琉球列島に分布。

沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 FI0-69

オヤビッチャ *Abudefduf vaigiensis* (Quoy et Gaimard) 2
岩礁域などで普通に見られる。千葉県以南の南日本に分布。

宝島 十島村 1964-07-15 西 源一郎 FI0-67-2

沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 FI0-67-1

クマノミ *Amphiprion clarkii* (Bennett)
浅海の大型イソギンチャクと共生している。千葉県以南に分布。

沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 FI0-56

クロスズメダイ *Paraglyphidodon melas* (Cuvier)
浅い礁湖内で普通に見られ、ソフトコーラルの周辺に多い。奄美大島以南に分布。

沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 FI0-60

コガネスズメダイ *Chromis analis* (Cuvier)
やや深いところの岩礁域に単独で生息していることが多い。伊豆半島以南に分布。

沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 FI0-57

- シコクスズメダイ *Chromis margaritifer* Fowler
サンゴ礁域に多く、琉球列島以北での越冬は困難とされている。千葉県以南に分布。
- 沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-58
- シマスズメダイ *Abudefduf sordidus* (Forsskal)
幼魚はタイドプール内でも見られるが、成魚は外に出る。千葉県以南に分布。
- 宝島 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-66
- セダカスズメダイ *Stegastes altus* (Okada et Ikeda)
やや波の荒い岩礁域やサンゴ礁の縁に見られる。千葉県、長崎県以南に分布。
- 沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-61
- ソラスズメダイ *Pomacentrus coelestis* Jordan et Starks
南日本ではごく普通種で、岩礁性海岸の転石地帯やサンゴ礁の外側にみられる。千葉県以南に分布。
- 開聞町花瀬 1964-05-12 西 源一郎 F10-62
- テンジクスズメダイ *Abudefduf bengalensis* (Bloch)
和歌山県以南の南日本に分布。
- 沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-68
- ネズスズメダイ *Chrysiptera glauca* (Cuvier)
サンゴ礁の潮間帯に普通に見られる。和歌山県以南に分布。
- 宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-70-2
宝島 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-70-1
- ハクセスズメダイ *Plectroglyphidodon leucozonus leucozonus* (Bleeker)
波の荒いサンゴ礁で普通に見られる。千葉県以南の南日本に分布。
- 宝島 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-65
- ハマクマノミ *Amphiprion frenatus* Brevoort
サンゴ礁域の浅い所に生息するイソギンチャクと共生する。奄美大島以南に分布。
- 沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-55
- バダビアスズメダイ
宝島 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-64
- ミスジリュウキュウスズメ *Dascyllus aruanus* (Linnaeus)
サンゴ礁域では、最も普通に見られる。琉球列島に分布。
- 沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-59

Cirrhitidae

ゴンベ科

ウイゴンベ

Cyprinocirrhites polyactis (Bleeker)

この仲間では珍しく遊泳性で、海底からやや離れて泳ぎまわる。和歌山県以南に分布。

沖永良部島

1962-07-20

石田 英実

F10-47

Cheilodactylidae

タカノハダイ科

ミギマキ

Goniistius zebra (Doderlein)

沿岸の岩礁にすむ雑食性の魚で、岩の上や砂場で休んでいることが多い。相模湾以南の南日本にごく普通に分布。

枕崎沖

1953-05-06

不明

F10-150

Labridae

ベラ科

カマスベラ

Cheilio inermis (Forsskal)

岩礁と砂地の境界付近にすみ、危険時や睡眠時は砂中に潜る。千葉県及び富山県以南に分布。

奄美大島

不明

F10-157

カンムリベラ

Coris aygula Lacepede

幼魚はその特異な色彩のために、観賞魚として人気がある。相模湾以南に分布。

2

宝島 十島村

1964-07-15

四宮 明彦

F10-78-2

沖永良部島

1962-07-20

石田 英実

F10-78-1

クギベラ

Gomphosus varius Lacepede

極めて敏捷なベラでサンゴ礁の間を泳ぎまわり、サンゴの間にひそむ小動物を捕食する。夜間はサンゴの隙間や岩陰にいる。和歌山県以南に分布。

奄美大島

不明

F10-158

テンス

Xyrichtys dea Temminck et Schlegel

本州南部では普通種だが、生息場所はやや深い。東京湾及び島根県以南に分布。

不明

不明

F10-159

トカラベラ

Halichoeres hortulanus (Lacepede)

沖縄ではごく普通種。和歌山県以南に分布。

宝島 十島村

1964-07-15

西 源一郎

F10-77

ニシキベラ

Thalassoma cupido (Temminck et Schlegel)

温帯性の魚で、本州、四国、九州の南部で最も普通のベラだが、奄美大島以南ではむしろ少ない。本州中部以南に分布。

2

宝島 十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-74
沖永良部島	1962-07-20	石田 英実	F10-80

ハコベラ *Thalassoma quinquevittatum (Lay et Bennett)*
 沖縄では普通種。沖縄島以南に分布。

宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-73
--------	------------	-------	--------

ハラスジベラ *Stethojulis strigiventer (Bennett)*
 本州南部で見られるが、それらは幼魚がほとんどである。相模湾以南に分布。

沖縄県宮古島	1963-07	西 源一郎	F10-76
--------	---------	-------	--------

ブチスキベラ *Anampses caeruleopunctatus Ruppell*
 幼魚は本州南岸の磯で普通に見られる。相模湾以南に分布。

2

宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-71-2
宝島 十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-71-1

ベラ的一种
 沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-72

モチノウオ的一种 *Cheilinus sp.*
 沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-79

ヤマブキベラ *Thalassoma lutescens (Lay et Bennett)*
 奄美大島以南では最も普通。小笠原，和歌山県以南に分布。

宝島 十島村	1964-07-15	西 源一郎	F10-75
--------	------------	-------	--------

Scaridae

ブダイ科

イチモンジブタイ *Scarus forsteni (Bleeker)*
 普通種で追込網で漁獲され食用となる。高知県以南に分布。

宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-81
--------	------------	-------	--------

オオモンハゲブタイ *Scarus bowersi (Snyder)*
 食用魚で，大きな斑紋がある。琉球列島に分布。

宝島 十島村	1964-07-15	四宮 明彦	F10-82
--------	------------	-------	--------

Echeneididae

コバンザメ科

コバンザメ *Echeneis naucrates Linnaeus*
 他の魚にくっついて移動し，相手の魚の種類はある程度決まっている。太平洋，大西洋の温帯，熱帯海域に分布。

不明		不明	F10-171
----	--	----	---------

Xiphiidae**メカジキ科**

メカジキ

Xiphias gladius Linnaeus

全世界の温帯，熱帯海域に分布。

フィリピン沖

1958-11-20

新宮領孝一

F184-1

Trichiuridae**タチウオ科**

タチウオ

Trichiurus lepturus Linnaeus

日本近海で漁獲され，美味である。南日本に分布。

不明

不明

F10-140

Zanclidae**ツノダシ科**

ツノダシ

Zanclus cornutus (Linnaeus)

2

浅い岩礁やサンゴ礁にすみ，雑食性で飼育魚として人気がある。千葉県以南に分布。

宝島 十島村

1964-07-15

四宮 明彦

F10-94-2

沖縄県宮古島

1963-07

西 源一郎

F10-94-1

Acanthuridae**ニザダイ科**

クロハギ

Acanthurus xanthopterus Valenciennes

南日本に分布し，食用魚となる。

沖縄県宮古島

1963-07

西 源一郎

F10-98

サザナミハギ

Ctenochaetus striatus (Quoy et Gaimard)

2

大きな群れをつくり，サンゴ礁外縁で藻類を食べる。南日本に分布。

沖永良部島

1962-07-20

石田 英実

F10-100-1

沖縄県宮古島

1963-07

西 源一郎

F10-100-2

シマハギ

Acanthurus triostegus (Linnaeus)

琉球列島のサンゴ礁域では普通に見られ，一般に食用とはしない。南日本に分布。

沖縄県宮古島

1963-07

西 源一郎

F10-95

ナガニザ (コクテンニザ)

Acanthurus nigrofuscus (Forsskal)

普通に捕れるが，一般に食用とはしない。南日本に分布。

沖永良部島

1962-07-20

石田 英実

F10-99

ニザダイ

Prionurus scalprus Valenciennes

サンゴ礁域ではほとんど見られない温帯種である。幼魚はタイドプールにもいて，観賞魚として人気がある。南日本に分布。(方名 サンノジ)

開聞町花瀬 1979-05-12 西 源一郎 F10-102

ニジハギ *Acanthurus lineatus* (Linnaeus) 2
潮通しの良いサンゴ礁の浅いところに多く、すばしこい。南日本に分布。

宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-96-2
沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-96-1

ミヤコテングハギ *Naso lituratus* (Schneider)
サンゴ礁域で普通に見られ、幼魚は観賞魚として人気がある。駿河湾以南に分布。

宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-101

モンツキハギ *Acanthurus olivaceus* Schneider
琉球列島のサンゴ礁域では普通に見られる。南日本に分布。

十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-97

Gobiidae

ハゼ科

クロヨシノボリ *Rhinogobius* sp. DA
川の中・上流に生息し、特に淵に多い。北海道、東北地方を除く日本全国に分布。

大根占町神川丸屋神川 1991-10-14 君付 学 F199100024

ゴクラクハゼ *Rhinogobius giurinus* (Rutter) 4
河川の下流域と汽水域の砂礫底に生息する。本州（茨城県、秋田県以南）、四国、九州、琉球列島に分布。

有明町重田菱田川 1991-08-25 君付 学 F199100036
有明町重田菱田川 1991-08-25 君付 学 F199100037
内之浦町岸良久保田川 1991-08-14 君付 学 F199100028
内之浦町岸良久保田川 1991-08-14 君付 学 F199100029

シマヨシノボリ *Rhinogobius* sp. CB 8
ヨシノボリ属のなかでは最も普通に見られ、河川の中流域を中心に生息する。下流域ではゴクラクハゼと混生する。北海道を除く日本全国に分布する。

出水市下平野橋広瀬川 1991-09-05 君付 学 F199100033
出水市下平野橋広瀬川 1991-09-05 君付 学 F199100034
出水市下平野橋広瀬川 1991-09-05 君付 学 F199100035
有明町重田菱田川 1991-08-25 君付 学 F199100038
有明町重田菱田川 1991-08-25 君付 学 F199100039
有明町重田菱田川 1991-08-25 君付 学 F199100040
内之浦町岸良久保田川 1991-08-14 君付 学 F199100026
内之浦町岸良久保田川 1991-03-14 君付 学 F199100027

チチブ *Tridentiger obscurus* (Temminck et Schlegel)
河川の中・下流や沼などに普通に見られる。ふ化後ただちに海に下り、成長後再び川へのぼるが、一生を淡水で過ごすものも報告されている。南日本各地に分布。

不明 不明 F10-155

ツムギハゼ *Yongeichthys criniger (Valenciennes)*
 琉球列島各地の汽水域に普通に見られる。有毒で皮膚の毒性が高い。絶対に食用に
 してはならない。琉球列島に分布。

不明 不明 F10-156

トウヨシノボリ *Rhinogobius sp. OR*
 日本産ヨシノボリ属魚類の中で、最も変異に富む。琉球列島を除く全国の淡水湖、
 汽水湖およびその流入河川に生息する。

出水市下平野橋広瀬川 1991-09-05 君付 学 F199100031

ドンコ *Odontobutis obscura obscura (Temminck et Schlegel)* 4
 河川の中流域を中心に生息し、淵に多い。地下水が豊富な用水路や池に現れること
 もある。日本固有の亜種で、本州（愛知県・新潟県以南）、四国、九州に分布。

大口市山野羽月川 1963-08-08 西 源一郎 F10-53-1
 大口市山野羽月川 1963-08-08 西 源一郎 F10-53-2
 出水市下平野橋広瀬川 1991-09-05 君付 学 F199100032
 高尾野町このし橋江内川 1991-05-25 君付 学 F199100030

ヌマチチブ *Tridentiger brevispinis Katsuyama, Arai et Nakamur*
 河川の汽水域から中流域、汽水湖、ため池など多様な場所にすみ、礫底などを好む。
 食用として漁獲される。北海道から九州まで広い範囲に分布。

有明町重田菱田川 1991-05-28 君付 学 F199100043

ボウズハゼ *Sicyopterus japonicus (Tanaka)* 3
 河川の中・上流域に生息し、稚魚はいったん海に下り、成長したのち川を遡上する。
 そのとき、岩面をはって岩を乗り越える。関東地方以南の太平洋側から琉球列島ま
 で分布する。

有明町重田菱田川 1991-05-28 君付 学 F199100041
 有明町重田菱田川 1991-05-28 君付 学 F199100042
 内之浦町岸良久保田川 1991-08-14 君付 学 F199100025

ヨシノボリ *Rhinogobius brunneus (Temminck et Schlegel)*
 全国各地の河川や湖に見られる雑食性のハゼで、形態や斑紋及び生活史などからい
 くつかの型に分けられる。

大口市山野春村羽月川 1963-08-08 西 源一郎 F10-54

Mugiloididae

トラギス科

ナナメトラギス
 沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-48

Uranoscopidae**ミシマオコゼ科**

ミシマオコゼ *Uranoscopus japonicus* Houttuyn
水深数10mの砂泥底にすむ。琉球列島を除く日本各地の沿岸に分布。

不明 不明 F10-151

Blenniidae**イソギンボ科**

ヒメハタタテギンボ
沖縄県宮古島 1963-07 西源一郎 F10-49

ヤエヤマギンボ *Salaria fasciatus* (Bloch)
サンゴ礁域で最も普通に見られる。琉球列島に分布。

沖縄県宮古島 1963-07 西源一郎 F10-50

Pholididae**ニシキギンボ科**

ギンボの一種 *Pholis* sp.
沖縄県宮古島 1962-07-20 石田英実 F10-51

Scorpaenidae**フサカサゴ科**

イソカサゴ *Scorpaenodes littoralis* (Tanaka)
温帯域の岸近くの岩礁やタイドプールにすむ。棘には弱毒がある。相模湾以南、鹿児島県まで分布。

開聞町花瀬 1964-05-12 西源一郎 F10-113

イソカサゴの一種 *Scorpaenodes* sp.
宝島 十島村 1964-07-15 西宮明彦 F10-114

ネットイフサカサゴ *Scorpaena picta* Cuvier
浅い海の岩礁域にすむ。相模湾以南に分布。

沖縄県宮古島 1962-07-20 石田英実 F10-115

ハチ *Apistus carinatus* (Bloch et Schneider)
昼間は砂に潜っていることが多く、夜に底近くを舞うように泳ぐ。各ひれの棘は有毒である。本州中部以南に分布。

不明 不明 F10-167

ハナミノカサゴ *Pterois volitans* (Linnaeus)
南日本の黒潮流域では普通に見られる。駿河湾以南に分布。

沖縄県宮古島 1962-07-20 石田英実 F10-116

Platycephalidae

コチ科

ハナメゴチ
南日本に分布。

Ratabulus megacephalus (Tanaka)

不明

不明

F10-168

Triglidae

ホウボウ科

ホウボウ

Chelidonichthys spinosus (McClelland)

やや深い砂泥底にすむ。北海道南部から台湾近海まで分布。

不明

不明

F10-169

Dactylopteridae

セミホウボウ科

セミホウボウ

Dactyloptena orientalis (Cuvier)

普通海底に生息し、胸びれはトビウオのように広げると大きい。南日本に分布。

奄美大島

不明

F10-170

Callionymidae

ネズッコ科

ヤリヌメリ

Repomiscenus usuguenini (Bleeker)

外洋性沿岸にすむ。北海道南部以南の日本各地の沿岸に分布。

不明

不明

F10-152

Paralichthyidae

ヒラメ科

ヒラメ

Paralichthys olivaceus (Temminck et Schlegel)

千島列島から九州にかけて分布し、美味で養殖もされている。本標本は3倍体のヒラメで、栽培漁業センターで研究中のものである。

垂水市県栽培漁業センター

1990-10

F199100067

ヒラメ (稚魚)

Paralichthys olivaceus (Temminck et Schlegel)

34

垂水市県栽培漁業センター

1990-10

F199100068

34

Pleuronectidae

カレイ科

メイタガレイ

Pleuronichthys cornutus (Temminck et Schlegel)

沿岸の水深100m以内の砂泥底にすみ、底曳網で漁獲される。北海道南部以南に分布。

七島

1953-03-19

不明

F10-172

Balistidae

モンガラカワハギ科

- クマドリ *Balistapus undulatus (Mungo Park)*
サンゴ礁でごく普通に見られ、観賞魚の一つだが、性質が荒く他の魚を攻撃する。
和歌山県以南に分布。
- 沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-106
- クロモンガラ *Melichthys vidua (Solander)*
サンゴ礁のやや深いところに生息する。岩手県以南の太平洋岸に分布。
- 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-103
- タスキモンガラ *Rhinecanthus rectangulus (Schneider)* 3
サンゴ礁に生息するが、日本ではややまれ。和歌山県以南に分布。
- 宝島 十島村 1964-07-15 四宮 明彦 F10-108-1
十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-108-3
沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-108-2
- ツマジロモンガラ *Sufflamen chrysopterus (Bloch et Schneider)*
本州南部では、浅い岩礁で幼魚がよくみられるが、成魚はごくまれである。沖縄以南では普通種。伊豆半島以南に分布。
- 沖縄県宮古島 1963-07 西 源一郎 F10-105
- ムラサメモンガラ *Rhinecanthus aculeatus (Linnaeus)*
サンゴ礁に生息する普通種。千葉県以南に分布。
- 沖永良部島 1964-07-20 石田 英実 F10-107
- モンガラカワハギ *Balistoides conspicillum (Schneider)*
サンゴ礁に生息し、群れをつくることはない。高級観賞魚として有名であるが、縄張り争いが激しいので複数で飼うのは難しい。相模湾以南の南日本に分布。
- 十島村 1964-07-15 西 源一郎 F10-104

Ostraciidae

ハコフグ科

- クロハコフグ *Ostracion meleagris meleagris Shaw* 2
サンゴ礁域に生息しているが、日本ではややまれ。田辺湾（千葉県）以南に分布。
- 宝島 十島村 1964-07-15 海洋生態研究会 F10-110
不明 不明 F10-161
- コンゴウフグ *Lactoria cornuta (Linnaeus)*
幼魚は本州南部で時々見られる。成魚は沖縄で普通に見られる。本州中部以南に分布。
- 奄美大島 不明 F10-162

ハコフグ *Ostracion immaculatus Temminck et Schlegel* 2
 温帯域で普通に見られる。無毒である。北海道以南に分布。

佐多町佐多岬 1964-04-07 西 源一郎 F10-109-2
 沖永良部島 1962-07-20 石田 英実 F10-109-1

Tetraodontidae フグ科

コモンフグ *Takifugu poecilonotus (Temminck et Schlegel)*
 肉は弱毒。精巢、皮及び腸は猛毒。北海道から沖縄までの日本各地に分布。

不明 不明 F10-164

サバフグ *Lagocephalus lunaris spadiceus (Richardson)*
 中層遊泳型で無毒だが、猛毒のドクサバフグと間違いやすい。東北地方以南に分布。

屋久島 1953-02-28 不明 F10-163

Diodontidae ハリセンボン科

イシガキフグ *Chilomycterus affinis Gunther*
 サンゴ礁や岩礁域に単独で生息している。本州中部以南に分布。

奄美大島 不明 F10-166

ハリセンボン *Diodon holocanthus Linnaeus* 2
 日本海沿岸では、若魚の大群が網にかかることがある。本州中部以南に分布。

開聞町花瀬 1964-05-12 西 源一郎 F10-112
 不明 不明 F10-165

Osteoglossidae オステオグロッサス科

ピラルク *Arapaima gigas*
 南米アマゾン川に生息し、体長4.5m、体重200kgにも達する。浅瀬に穴を掘って産卵し、親は巣にとどまり卵を保護する。ときどき水面に口を出し、うきぶくろで空気呼吸をする。現地では食用とされる。本標本は、体長2.1mである。なお、次の標本は清藤克之氏より寄贈されたものである。

ブラジルネグロ川 1984-01 F184-2

Characidae カラシン科

ピラニア カジュー (赤ピラニア) *Serrasalmus mafferi* 6
 アマゾン河の代表的な猛魚で、群れをなして大型動物をおそい、たちまち骨だけにしてしまうのは有名である。なお、次の標本は清藤克之氏より寄贈されたものである。

アマゾン河	1984		F184-4-1
アマゾン河	1984		F184-4-2
アマゾン河	1984		F184-4-3
アマゾン河	1984		F184-4-4
アマゾン河	1984		F184-4-5
アマゾン河	1984		F184-4-6

黒ピラニア *Serrasalmus* 2
 ピラニアの仲間では最大となる。川岸からよく釣れるが、注意しないと鋭い歯でかまれることもある。なお、次の標本は清藤克之氏より寄贈されたものである。

アマゾン河	1983-09		F184-3-2
アマゾン河	1983-09		F184-3-1

ヨロイナマズ科

スイツキナマズ *Hypostomus plecostomus* 2
 南米アマゾン河に生息し、60cm以上になる。全身ザラつく硬い鱗におおわれ、骨も固い。なお、次の標本は清藤克之氏より寄贈されたものである。

アマゾン河	1984-09	不明	F184-6-1
アマゾン河	1984-09	不明	F184-6-2

ヨロイナマズ *Pseudorasbora nigei* 2
 南米アマゾン河に生息し、全身硬い鱗でおおわれている。なお、次の標本は清藤克之氏より寄贈されたものである。

アマゾン河	1984-09		F184-5-1
アマゾン河	1984-09		F184-5-2

Cichlidae

シクリ科

ジリテラピア *Tilapia zillii* 2
 指宿市県水産試験所指宿内水面場 1990-11 ♂ F199100065
 指宿市県水産試験所指宿内水面場 1990-11 ♂ F199100066

ナイルテラピア *Oreochromis niloticus* 3
 日本へは1962年当時のアラブ連邦から移入され、現在淡水産養殖魚として利用され、「チカダイ」として市販されている。全雄法、3倍体魚などの研究が進んでいる。

指宿市池田湖	1980-11-18	四宮 明彦	F181-15
指宿市県水産試験所指宿内水面分場	1990-11		♂ F199100062
指宿市県水産試験所指宿内水面分場	1990-11		♀ F199100063

モザンビークテラピア *Oreochromis mossambicus* 4
 指宿市二反田川 1980-09-18 四宮 明彦 F181-14
 指宿市県水産試験所指宿内水面分場 1990-11 ♀ F199100064 3